



末吉高等学校便り

Sueyoshi High School

主な記事・・・薬物乱用防止教室

発行日 平成 24 年 12 月 11 日

薬物乱用防止教室

十一月二十九日、「薬物乱用防止講座」を実施しました。今年は、民間のリハビリ施設へ入居し、薬物依存から回復しよう実践されている方から直接話を聞きまじらした。薬物依存への経緯や実態など、自らの体験に基づく話に生徒達は、真剣に聞き入っていました。



今日の「薬物乱用防止講座」の講座を聞いて、改めて薬物乱用の怖さを知りました。これまで何度もこういったセミナーを受けてきましたが、今回は実際に薬物をしてしまった人の体験談を聞くことができました。薬物なんて自分には関係のないものだろうと思っていただけ、身近な「薬」が薬物依存への道を切り開いてしまうのだと知って、少し恐くなりました。薬物の恐さは本当にひどい物だと思った。家族をまきこんでしまったり、人間関係の破壊など、自分の考えまで変えてしまっていくなんて、軽く考えてはダメだと思った。今日一番忘れてはならないと思ったのは、「薬物はやめてからも自分を苦しめる」ということです。自分のためにも

周りのためにも、STOP薬物！を心がけて過ごしていこうと思った。

後藤美有紀(三年情報処理科)

吉井淳二記念展勉強会

十一月二十四日(土)、崇城大学の先生をお招きし、小・中・高校生及び一般の方を対象とした絵画の勉強会が行われました。この勉強会は、曾於市民提案型地域づくり事業支援補助金の助成を受け、「優れた先生に学びながら吉井淳二記念展に出品する作品を制作しよう」の目的で開催されました。四十五名の参加があり、小・中学生は水彩画、高校生・一般の方は油絵を学びました。今回は、一月十二日(土)に実施予定です。



今日のいじめ防止セミナーではOKグラムチェックをしたり、ゴミ箱の中身を想像して書いたり、とても楽しいセミナーでした。富田さんの話も、とても聞きやすく頭の中にしつ

かりと入ってきました。自分はいじめられたこともないし、相手をいじめたこともないので、気持ちは分かりませんが、いじめを受けた方はとても悲しくて心にダメージを受けると思います。いじめた方は、変わっていく必要があります。人は自ら変わることが出来る力を持っているので、努力をすればきっと変わることが出来ます。今日のセミナーはとても分かりやすく楽しかったです。

山平幸豊(二年普通科)



- 実際の場面から
- ア、告白する (2回ずつ言う)
 - イ、自分のペンを無理やり取られた
 - ウ、相手の態度にムカつく
 - エ、相手にお返しをしたい

いじめ防止セミナー

十二月七日、「いじめ防止セミナー」を実施しました。臨床心理士の富田恵子先生をお招きして、若手教職員によるロールプレイングを交えながら、自己分析と「いじめ」は、「絶対やってはいけないことである」という意識を学びました。

十一月三十日(水)情報処理科全生徒が、学科研修へ行きました。午前は、鹿児島国際大学で経済学部教授の衣川恵生から「日本銀行の役割」「信用創造」についての講義を受けました。広い黒板を一杯に使用した板書やプロジェクトを活用した講義に生徒達は、一生懸命にノートをとっていました。午後は、鹿児島市で開催されている「かごしまITフェスタ」を見学しました。ITフェスタでは、最新のソフトウェアや情報工学機器を体験し、情報機器の仕組みや技術についての学習をしました。

情報処理科科学研究

